

第 3 回宇和島港湾脱炭素化推進協議会 議事録

1. 開催日時 令和 7 年 10 月 7 日（月）10 時 30 分～12 時 00 分

2. 開催場所 宇和島市生涯学習センター ホール

3. 議事

- (1) 宇和島港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について
- (2) 意見交換

4. 議事要旨

(1) 開会

(2) 議事

(ア) 宇和島港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について

- ・事務局から内容説明を行った。

(イ) 意見交換

- ・宇和島港は水産品の輸出が盛んであり、養殖関係で使用する船については、係留時に発電機を稼働させており、CO2 を排出しているため、陸電設備を整備していただきたい。また、周辺で多く利用されている活魚車は、積んでいる発電機により水槽の温度調整を行っており、そのような車両に係る省エネ化についても今後検討する必要がある。

⇒要望されている陸電設備については第 2 回の協議会でも同様のご意見をいただいております、現場状況も確認させていただいたところであるが、現段階では具体的な計画としては盛り込めておらず「将来構想」への記載に留めている。今後は、将来構想で終わることのないよう、実効性のあるものにするため、引き続き検討していくこととしている。

- ・先般、高松港が、国土交通省が策定している CNP 認証制度における認証港となったところであり、認証式においては報道関係も多く参加していただくなど、脱炭素化に対する社会的な関心が高まっているのを感じている。脱炭素化に向けた取組は宇和島港だけでなく、当該地域にとっても PR に繋がるものであるため、引き続きご検討をお願いしたい。

- ・宇和島市では環境基本計画は策定済みであるが、脱炭素化推進計画のようなものはないため、具体的な取組方針を整理するためにも、本協議会内容を参考にしながら、今後検討していきたい。

- ・港湾脱炭素化促進事業として掲載予定の計画について、関係構成員より、内容の説明を行った。

- ・脱炭素化に向けた取組を港から進めてきたのは、エネルギーの大半が港を経由すること、CO2 発生原因は港周辺の工業地帯に多いからであるが、臨海部だけでなく、内陸部についても合わせての取組を進める必要がある。脱炭素化の動きを地域に根差していくためにも、引き続きご協力をお願いしたい。

(3) 閉会